

横大路小学校 学校だより

平成28年10月31日

京都市立横大路小学校

校長 門田 秀司

京都市立横大路小学校 10月臨時号

お忙しい中、前期の学校評価にご協力いただきありがとうございました。集計結果をご報告いたします。今回も昨年度と同様、保護者の皆様からは、90%以上の方からご回答をいただきました。後期も今回の学校評価アンケートの結果をもとに、学校・地域・家庭が互いに連携しながら、学校の教育活動の一層の充実を図りたいと考えています。引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

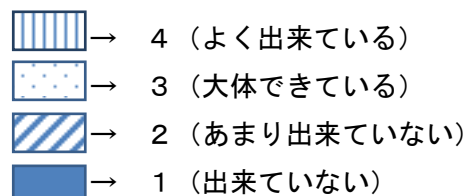
今回の学校評価アンケートでも、昨年度同様、児童・保護者・教職員ともに概ね高い評価となりました。

例えば、児童評価②「わかる授業」の項目では、85%以上の児童が「よくわかる」「大体わかる」というプラス評価をしています。保護者評価でも80%以上の方が、「児童は楽しく学校に通っている」「授業はわかる」との肯定的な評価をしていただきました。

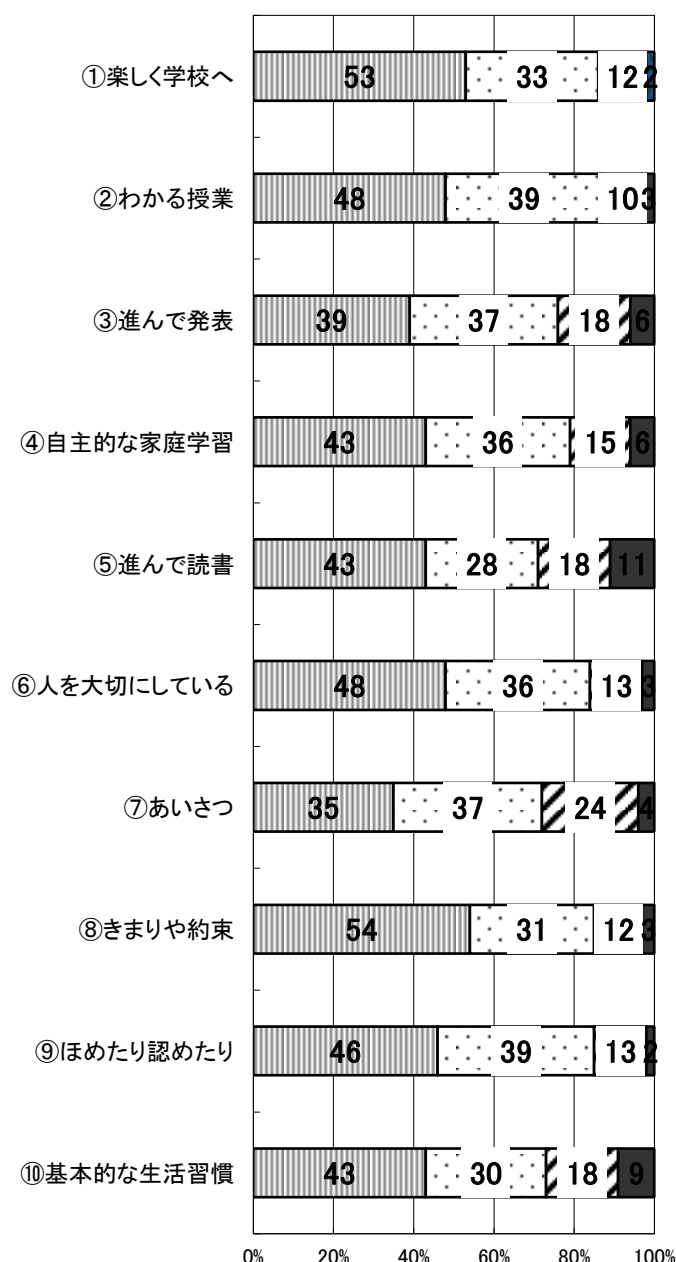
⑥「人を大切にしている」⑧「きまりや約束」の項目でも、昨年後期より10%近く「よく出来ている」の割合が増加しています。全体的に児童は、きまりや約束をよく守り、相手の立場に立った行動できていると考えることができます。

しかし、①「楽しく学校へ」の項目では、児童・保護者とも否定的な回答が見られます。また、⑥「人を大切にしている」の項目でも、10%以上の児童・保護者がマイナス評価をしています。「学校が楽しい」「人を大切にしている」の項目は、全員が「そうだ」と回答してほしい項目です。今後も、児童に達成感や成就感を持てるような毎日の授業の充実など、取組の一層の充実を図りたいと考えています。

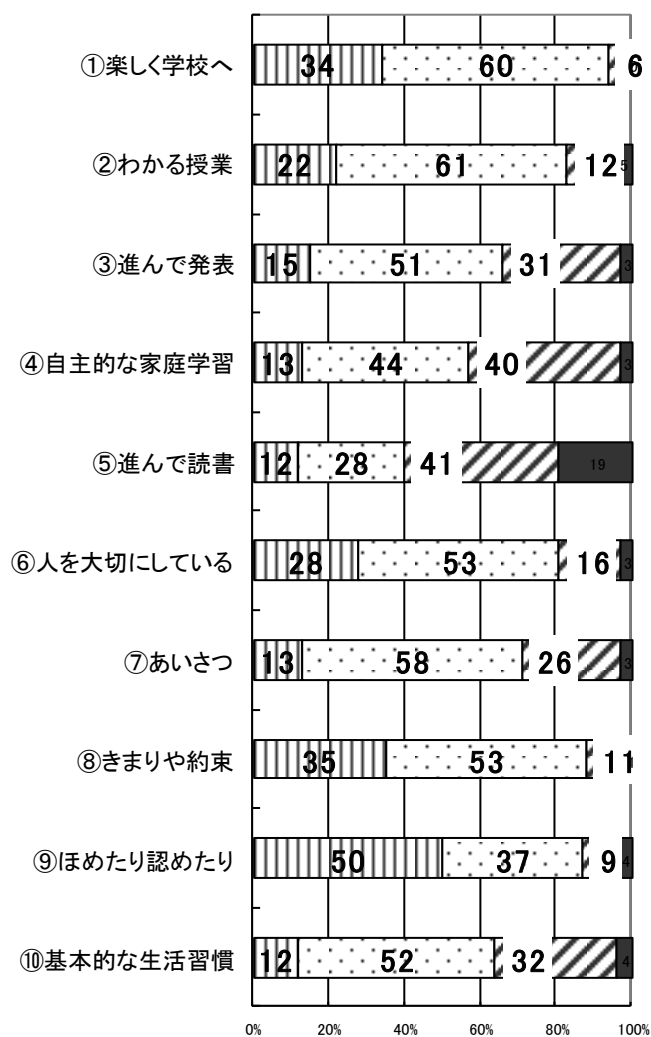
また、④「自主的な家庭学習」⑤「進んで読書」の項目にも課題が見られます。特に「進んで読書」の項目では児童の約30%、保護者の50%以上が、マイナス評価となっています。自主的な家庭学習も同様です。児童が決められた宿題等はきちんとできますが、読書や自主的な学習に自ら取り組めていない現状が見受けられます。学校では、家庭での学習・読書の時間を「15分×学年」（例 6年生では15×6＝90分）と目標にしています。家庭でも、毎日の宿題だけでなく、自主勉強や進んで読書をする習慣を身に付けてほしいと考えています。今後も、学校教育目標「夢を抱き いきいきと輝く 横大路の子」の実現のため、取組の充実を図りたいと思います。



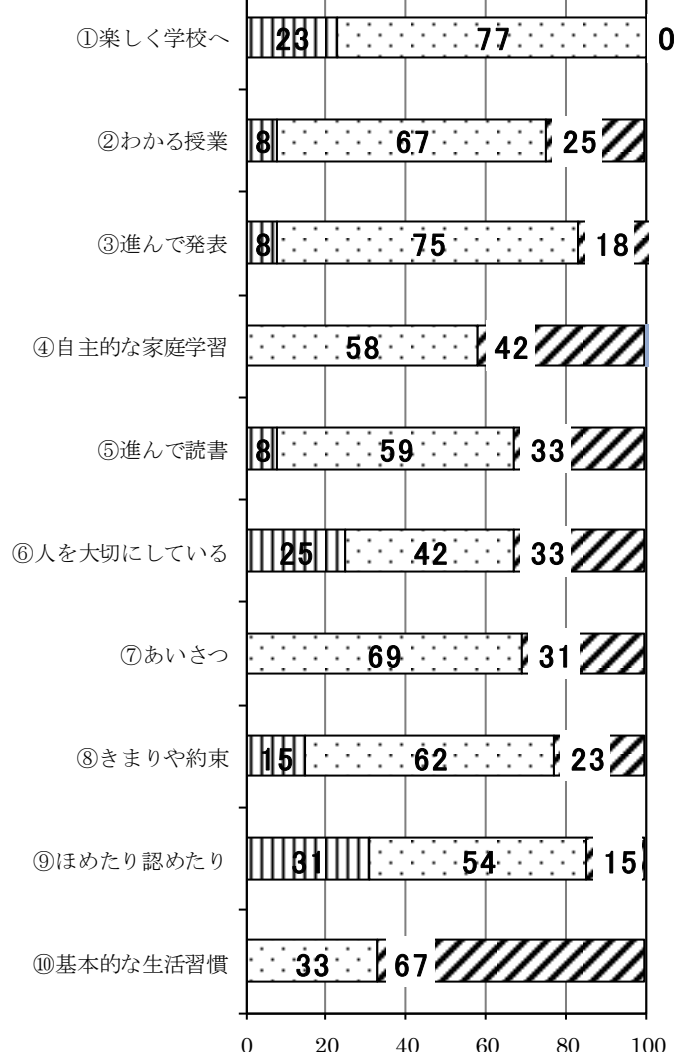
児童集計



保護者集計



教職員評価



保護者の皆様からのご意見の一部(自由記述欄より抜粋)

- ・ 先生にしかられることも多いが、先生が好きで頼りにしている。いつも見守ってくださりすごく安心する。
- ・ ノートの文字をきれいに書くことを気にしすぎて、本来の大事なお話などを聞き漏らしていないか心配。
- ・ 自分の学級だけでなく、他のクラスとの交流も広げてほしい。
- ・ 人数が少ない分アットホームな感じで、教職員全体で子どもたちを見守ってもらえている親近感がある。
- ・ 先生が子どもたちに努力を促し、時にはしかるなど毅然とした態度も必要だと思う。
- ・ 家庭でどのように読書をさせるか、よい工夫例があれば教えてほしい。年間 100 冊以上を目指したい。
- ・ 決まり事や善悪の判断など子どもの成長を感じることが増えている。
- ・ 集団登校で集まったとき、あいさつができる子が少ない。こちらから声をかけるとできるのですが・・・。
- ・ 校区で危険な箇所がある。付近の道路は、通り抜けをする車が多く、店の前に車も駐車してあって危険

学校運営協議会理事会で、理事の皆様からのご意見の一部

- 児童の登下校の様子から、旧千本通については路側帯もあり比較的きちんと歩いているが、郵便局から道を入ると急に道幅一杯に広がって歩くなど、交通事故にならないか心配している。
- あいさつは、毎朝の見守り活動での児童の様子を見てみると、少しずつできるようになってきていると感じている。あいさつについては、まず大人が見本となって率先することが大切だと思う。
- 「地域の子どもは地域で育てる」という言葉があるように、横大路小学校の子どもを地域全体で見守ることが大切だ。家庭・地域・学校が一体となって、子どもたちの健全育成のため協力するようにしていきたい。